

## 第 23 回子ども・子育て会議後の意見一覧表

## ●就学前児童ニーズ調査・小学生対象ニーズ調査の結果について

- ① ニーズ調査の結果が「次期子ども・子育て支援事業計画」に反映されることと思う。
- 地域子育て支援拠点事業について、問 19、問 20 に関しては回答数が、問 17 と重なり数字の読み取り方で現状と異なった印象を受けることが推察される。「調査結果報告書」に年齢別の結果は追加できないとのことだが、コメント欄に「回答数の 67.4%は平日定期的な教育・保育事業を利用して、物理的に参加する時間がないことも考えられる」を追加してほしい。
- ② 今回国の定めた形式で提出することは理解しているので、機会的に処理をすればいいことだと思う。ただ各委員からも意見が出たように、集計結果から、葉山町の抱える問題点や町民のニーズが読み取れると思う。それをどのように支援計画に盛り込むのかが私たち委員の本来の仕事だと思う。
- 例えば、設問 1 2 どのようなサポートがあれば良いか？は、具体的な対象年齢別に分析すると一時預かりのニーズは何歳児が多いかがわかり、計画に盛り込みやすくなるのではないか。
- ③ 設問 1 3 不安に感じることも年齢別や地域別がわかれば、「ひろば」事業をどこでどのように開いていけばいいか、具体的にわかりやすくなると思う。
- 他にも設問ごとに年齢や地域に分け、分析すると色々なことが見えて来そうです。その見えて来たことを支援計画に盛り込むことこそが、私たちの役割、会議を開く意味があるのだと思う。次回の会議から、有意義にできるといいなと、思った。

## ●教育・保育提供区域の設定の見直しについて

- ① 個人的には、保育園の必要性や保育所の役割の重要性はお預かりしているお子さんの近隣にあればあるほど、ニーズに添えること、将来の重要度も増してくると思う。そういった意味でも調整区域にありますが、町の子育て支援がよりキメの細かいことになると思う。ただ純粋に心配なのは、教育・保育提供の施設に限る、今回に限るということが守られるのかということだと思う。

